

2016年3月期 (平成28年3月期)

# 第2四半期 決算経営報告

**PART - 1. 第2四半期決算概要**

**PART - 2. 第1次中期経営計画(フェーズ2ローリングプラン)進捗状況**

2015年11月19日  
三菱製紙株式会社

## 2016年3月期 第2四半期 決算実績

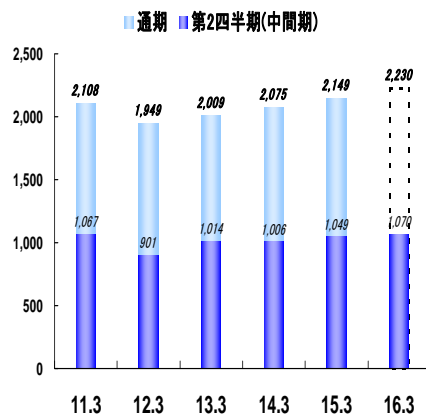
# 決算ハイライト <連結>



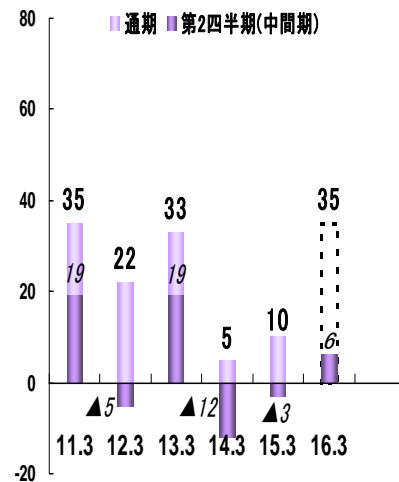
(単位: 億円)

	2015年3月期 第2四半期累計期間		2016年3月期 第2四半期累計期間		前年同期比	
	金額	売上高利益率(%)	金額	売上高利益率(%)	金額	増減率(%)
売上高	1,049	—	1,070	—	21	2.0
営業利益	▲3	▲0.3	6	0.6	9	—
経常利益	▲8	▲0.7	1	0.1	9	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲21	▲2.0	▲5	▲0.5	16	—

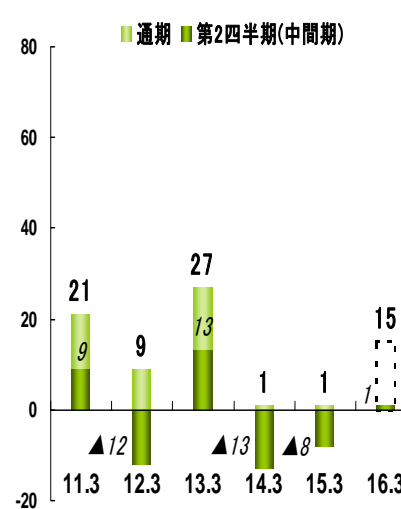
売上高



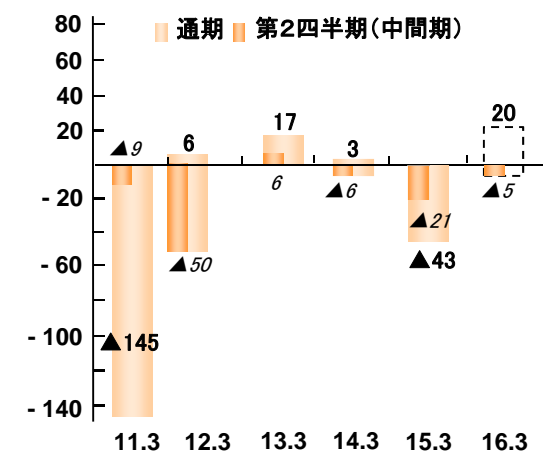
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する  
当期純利益



# 事業の種類別セグメント情報 <連結>



(単位:億円 %)

		2015年3月期 第2四半期累計期間	2016年3月期 第2四半期累計期間	増減額(注)	増減率
売上高	紙パルプ	815	811	▲4	▲0.5
	イメージング	212	204	▲8	▲4.0
	機能材	84	85	1	1.1
	その他	79	86	7	9.0
	消去	▲141	▲116	25	—
	合計	1,049	1,070	21	2.0
営業利益	紙パルプ	▲10	▲12	▲2	—
	イメージング	3	12	9	265.1
	機能材	2	4	2	103.8
	その他	2	2	0	38.5
	消去	▲0	0	0	—
	合計	▲3	6	9	—

増減額(注)

グループ内取引の商流変更等により、紙パルプとイメージングがそれぞれ減少し、消去が増加している。

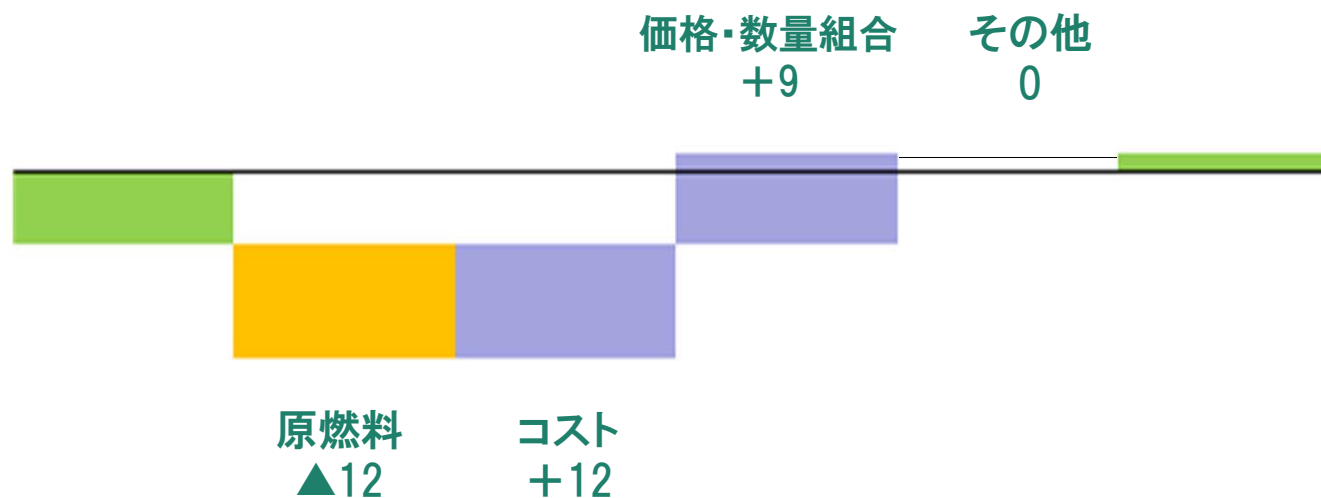
# 経常利益増減要因 <連結>



2016.3期 第2四半期 累計期間

15年3月期上期  
▲8億円

16年3月期上期  
1億円



# 貸借対照表 <連結>



(単位: 億円 %)

	2015年3月末		2015年9月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	金額
<b>資産合計</b>	<b>2,535</b>	<b>100.0</b>	<b>2,474</b>	<b>100.0</b>	<b>▲61</b>
流動資産	1,092	43.1	1,075	43.5	▲17
固定資産	1,443	56.9	1,399	56.5	▲44
有形固定資産	1,167	46.0	1,139	46.0	▲28
無形固定資産	3	0.1	3	0.1	0
投資その他の資産	273	10.8	257	10.4	▲16
<b>負債合計</b>	<b>1,984</b>	<b>78.3</b>	<b>1,938</b>	<b>78.3</b>	<b>▲46</b>
流動負債	1,158	45.7	1,217	49.2	59
固定負債	826	32.6	721	29.1	▲105
<b>純資産</b>	<b>551</b>	<b>21.7</b>	<b>536</b>	<b>21.7</b>	<b>▲15</b>
<b>有利子負債</b>	<b>1,448</b>	<b>—</b>	<b>1,404</b>	<b>—</b>	<b>▲44</b>

# キャッシュ・フロー計算書 <連結>



(単位: 億円)

	2015年3月期 第2四半期累計期間	2016年3月期 第2四半期累計期間	増減
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲19	52	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	6	▲19	▲25
財務活動によるキャッシュ・フロー	26	▲38	▲64
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	13	▲5	▲18
現金及び現金同等物の期首残高	84	65	▲19
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2	2
現金及び現金同等物の期末残高	97	62	▲35

2016年3月期  
通期業績予想



# 通期業績予想 < 連結・上上・下下・通期比較 >



(単位: 億円 %)

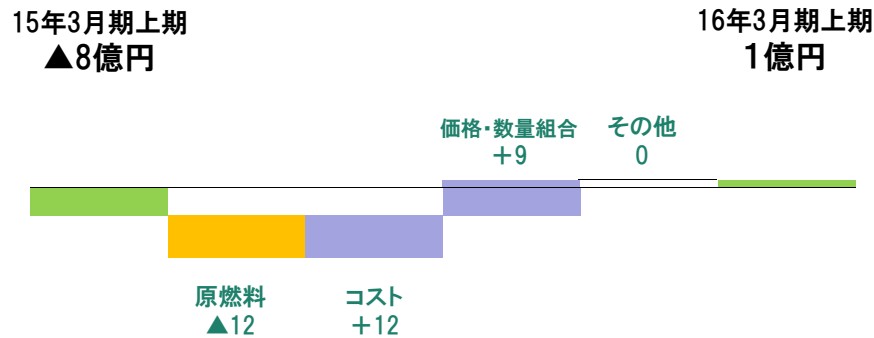
	2015年3月期			2016年3月期			増減					
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期		下期(予想)		通期(予想)	
							金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	1,049	1,100	2,149	1,070	1,160	2,230	21	2.0	60	5.4	81	3.7
紙パルプ	815	839	1,654	811	882	1,693	▲4	▲0.5	43	5.0	39	2.3
イメージング	212	223	435	204	223	427	▲8	▲4.0	0	0.0	▲8	▲1.9
機能材	84	84	168	85	92	177	1	1.1	8	9.0	9	5.1
その他	79	72	151	86	69	155	7	9.0	▲3	▲4.8	4	2.4
消去	▲141	▲118	▲259	▲116	▲106	▲222	25	—	12	—	37	—
営業利益	▲3	13	10	6	29	35	9	—	16	111.2	25	237.0
経常利益	▲8	9	1	1	14	15	9	—	5	51.4	14	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲21	▲22	▲43	▲5	25	20	16	—	47	—	63	—

下期予想の前提: 1\$ = 122円、ドバイ原油相場1バレル = \$60

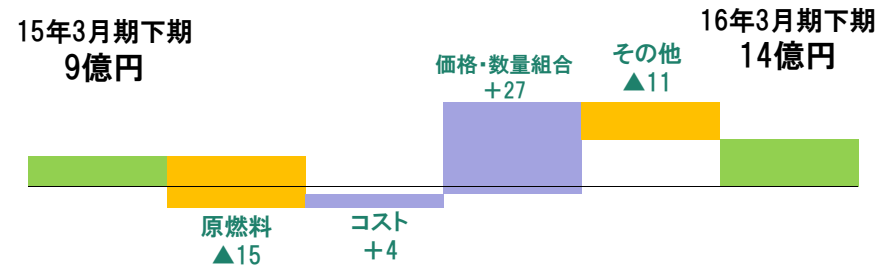
# 経常利益予想 増減要因 <連結・上上・下下・通期>



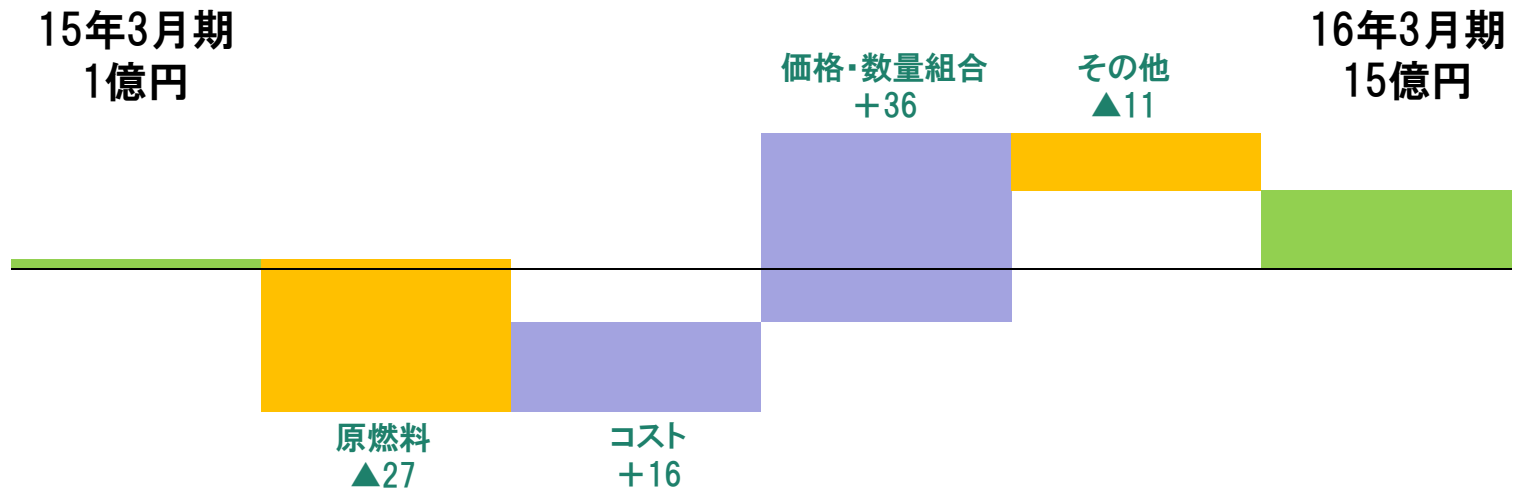
## 上期実績比較



## 下期予想比較



## 通期予想比較



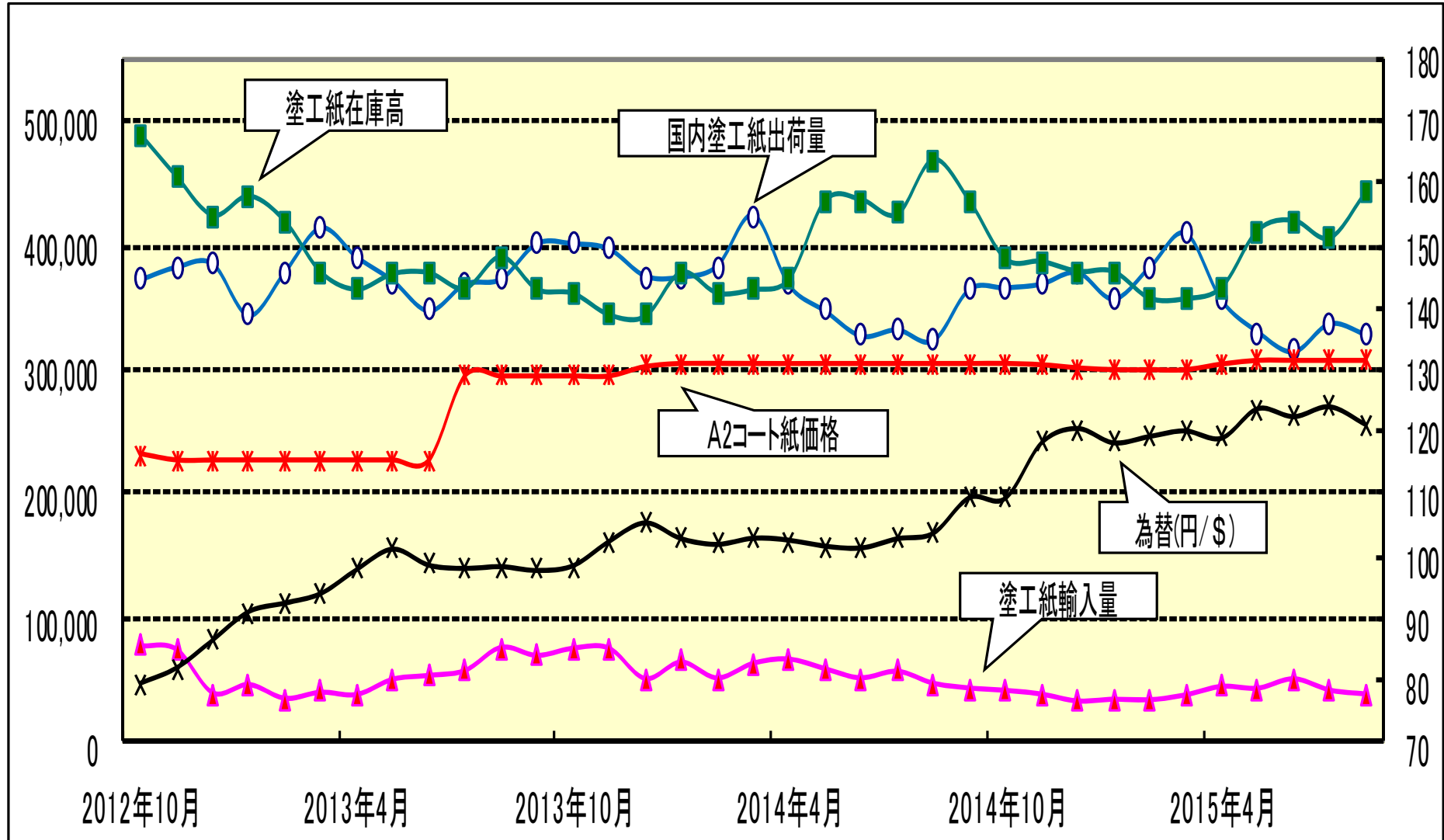
	2015年3月末	2015年9月末	2016年3月末(予想)
有利子負債	1,448億円	1,404億円	1,400億円
減価償却費	110億円	53億円	108億円
設備投資額	44億円	31億円	49億円
従業員数	3,622人	3,741人	3,710人※

※16年3月期より中国子会社2社(MFZ、MHL)、計195名が新たに連結対象に加わる。

**第1次中期経営計画  
(フェーズ2 ローリングプラン)  
進捗状況**

**2015年11月19日  
三菱製紙株式会社**

# (参考) 塗工紙需要動向・為替推移

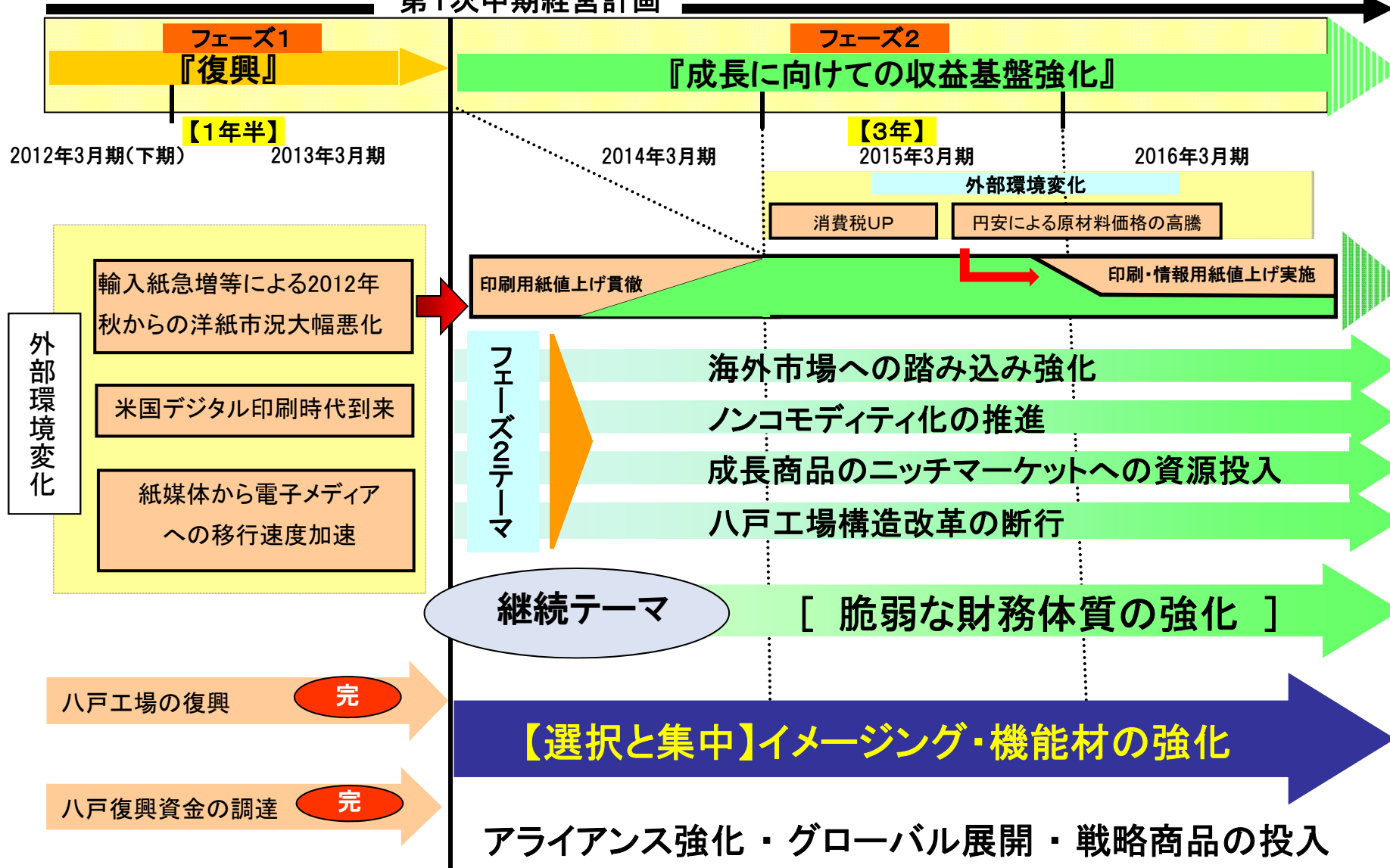


(出典:「日本製紙連合会 紙・板紙需給統計」、「財務省貿易統計」、「日本経済新聞社(商品相場)」)

# 中期経営計画概要と取組みテーマ

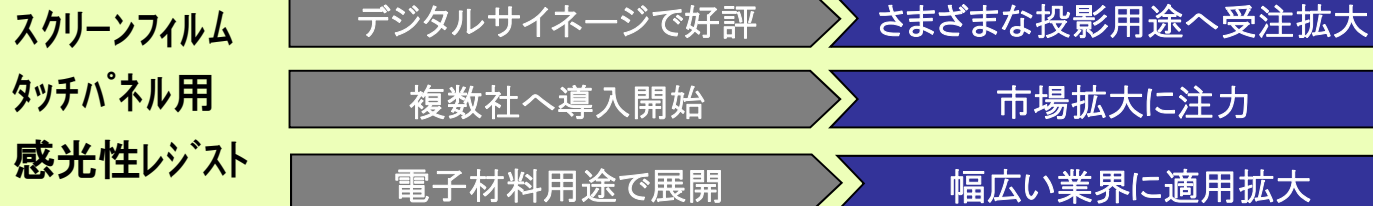


## 第1次中期経営計画



## ☆イメージング技術を用いた成長分野への進出

### ・機能性フィルム等成長分野への進出(15年3月期:7億円)



## ☆富士フィルムとのアライアンス強化

提携効果の確実な拡大

### ・原紙取引の拡大、新規取り組みも進展し、提携効果は確実に増大。

## ☆既存製品の更なる充実

### ・IJミニラボは米国市場から、アジア・欧州市場に横展開

北米市場は拡大(前年比160%)

アジア・欧州市場で展開(前年比130%)

### ・印刷製版材料の品揃え強化による新規顧客の開拓

大サイズ対応のTDP製版機械を投入

スクリーン印刷市場へ参入(前年比120%)

## ☆新規追加戦略・・・医療機器製造販売業への参入

留置針固定テープ  
「ダイヤエクール」発売

開発製品の逐次投入  
胚凍結保存デバイスを学会で発表

### 【今期トピックス】

- ・タッチパネル用機能性フィルムは産業用(POS端末・医療用モニター等)主体に実装開始
- ・富士フィルムとのアライアンスは順調に拡大中
- ・IJミニラボは計画を上回るペースで増加
- ・印刷製版材料の新市場開拓は計画通り推移

16/3月期	上期実績 (億円)	通期目標 (億円)	達成率 (%)
売上高	204	427	47.8
営業利益	12	25	48.1



%は前期比:

15/3実績

16/3見通し

## ☆不織布:水処理膜用支持体(RO膜)等のグローバル展開

中・米・欧 ユーザー拡大(276%)

他用途(MBR膜)等への展開(116%)

## ☆BS:リチウムイオン電池用セパレータ等の拡販

抄紙タイプの増販(205%)

塗工タイプの設備増強・増販(227%)

## ☆リライトメディア:新規市場の開拓

中国拡販(127%)

ASEAN新規市場開拓(102%)

## ☆フィルター:自動車用キャビンフィルターのグローバル展開

三極(日本・中国・北米)生産・販売体制確立(118%)

ワールドワイドで生産・販売を展開(109%)

## ☆KJ特殊紙:新商品を上市

CNT(カーボンナノチューブ)関連ビジネスの検討

CNT関連商品の量産化

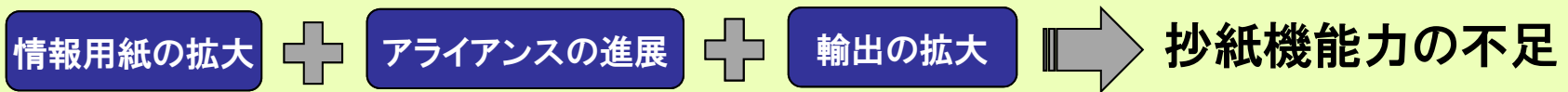
### 【今期トピックス】

- ・不織布 R0膜支持体の中国、米国、欧州拡大
- ・B S リチウムイオン電池用セパレータ新規拡大
- ・リライト 中国、日本堅調、ASEAN市場開拓
- ・フィルター 家電用不調、自動車用キャビンフィルターの成長鈍化による減少
- ・KJ特殊紙 年内にCNT分散液 量産化

16/3月期	上期実績 (億円)	通期目標 (億円)	達成率 (%)
売上高	85	177	48.0
営業利益	4	8	48.3

☆ 価格修正による収益確保 → 値上効果のフル発現と維持

☆ 八戸3号抄紙機の再稼働 → 2015年7月から再稼働(5,000トン/月)



「八戸情報用紙(アライアンス品含む)+輸出」の推移(月平均)

	3抄休止時(2012年12月)	2015年3月	2016年3月期(上期計画)
国内情報用紙	10,500t	14,200t	15,000t
輸出	500t	600t	1,000t
合計	11,000t	14,800t	16,000t

値上後の市況を守りながら国内基盤を維持

## 【収益基盤強化施策】

☆八戸3号抄紙機再稼働 及び 情報用紙・輸出の拡大  
2015年7月から再稼働…稼働率50%で推移

「八戸情報用紙(アライアンス品含む)+輸出」の推移(月平均)

	3抄休止時(2012年12月)	2015年3月	2015年9月	2016年3月期(下期計画)
国内情報用紙	10,500t	14,200t	15,000t	15,500t
輸出	500t	600t	1,500t	2,500t
合計	11,000t	14,800t	16,500t	18,000t

☆流通並びに物流の最適化プロジェクト推進

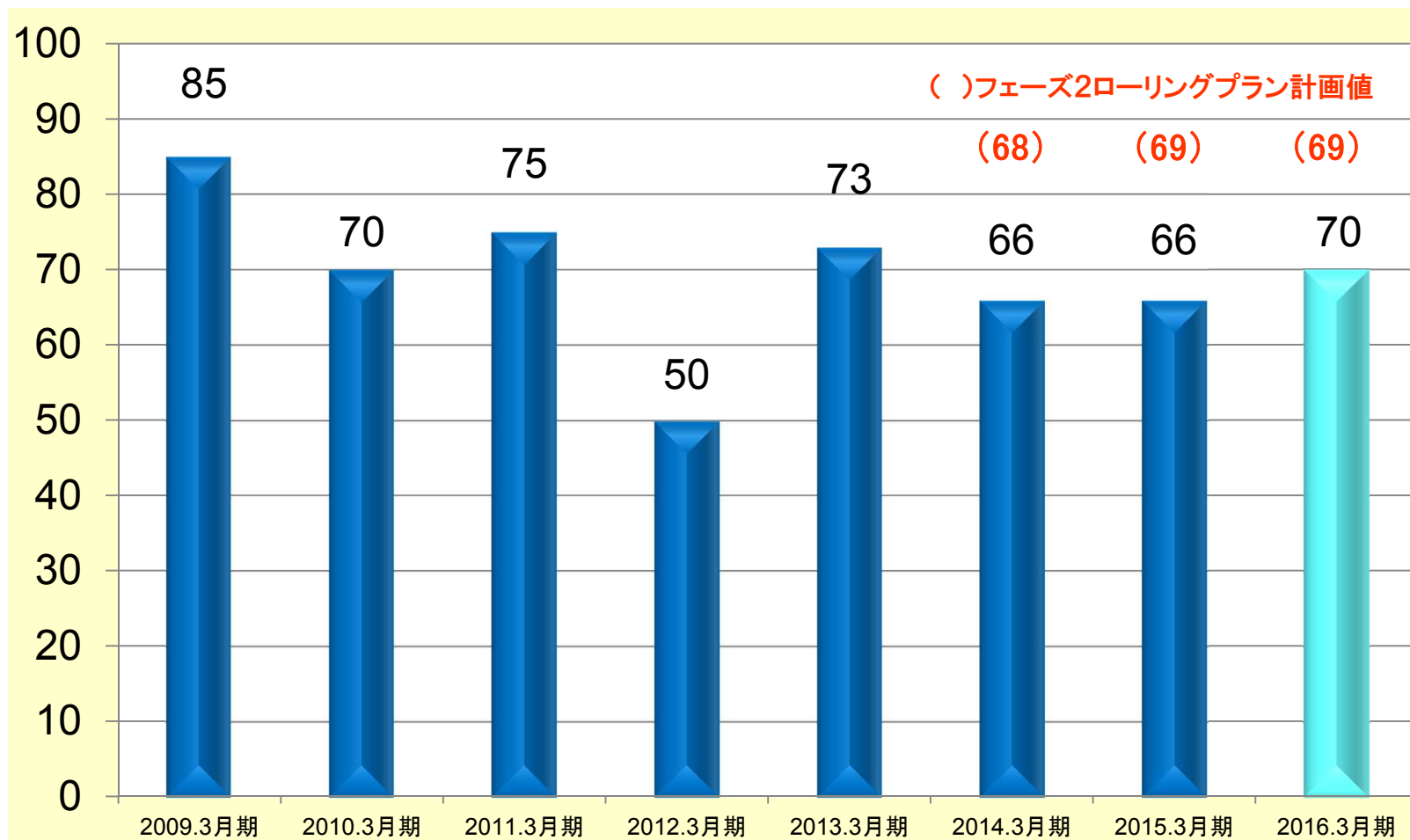
☆ドイツ事業 : ユーロ安に伴う原料高と市況軟化で厳しい収益環境  
→ 立て直し策の立案

16/3月期	上期実績 (億円)	通期目標 (億円)	達成率 (%)
売上高	811	1,693	47.9
営業利益	▲12	0	—

## (参考) 八戸工場生産量推移



(単位：万トン/年)



(見通し)

# 八戸工場 構造改革の進捗



効果金額 (2014年3月比)	15年3月期 実績	16年3月期 (計画)	16年3月期 上期 実績	15+16年累計 (計画)	15年+16年上期 累計 実績
八戸工場分社化	6億円	6億円	4億円	12億円	10億円
配合の改良他	4億円	4億円	3億円	8億円	7億円
物流費改善	1億円	—	—	1億円	1億円
その他 コストダウン	2億円	—	—	2億円	2億円
計	13億円	10億円	7億円	23億円	20億円

**16年3月期上期 実績 7億円**  
**(分社化効果 4億円+配合改良 3億円)**



**計画通りの進捗**

# 基本計画値と実績対比



	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
	上段－計画	上段－計画	上段－計画
	下段－実績	下段－実績	下段－見通し
売上高	2,100億円	2,200億円	2,300億円
	2,075億円	2,149億円	2,230億円
営業利益	17億円	57億円	85億円
	5億円	10億円	35億円
経常利益	10億円	35億円	60億円
	1億円	1億円	15億円
有利子負債	1,500億円	1,450億円	1,400億円
	1,490億円	1,448億円	1,400億円
D/Eレシオ	2.8倍	2.6倍	2.3倍
	2.8倍	2.8倍	2.7倍

		中期フェーズ2 前提数値	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	2016年3月期	
					上期実績	下期設定
為替	米ドル	100円/\$	100.00円/\$	110.03円/\$	121.50円/\$	122円/\$
	ユーロ	125円/€	134.01円/€	138.68円/€	134.60円/€	135円/€
	豪ドル	93円/A\$	93.30円/A\$	95.49円/A\$	91.07円/A\$	93円/A\$
原油	ドバイ	108\$/BBL	105\$/BBL	84\$/BBL	56\$/BBL	60\$/BBL

# 事業別 売上高／営業利益推移



(単位：億円)

		2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	2016年3月期 見通し
売上高	洋紙事業	1,574	1,617	1,654	1,693
	イメージング事業	398	416	435	427
	機能材事業	142	160	168	177
	その他	165	160	151	155
	消去	▲270	▲278	▲260	▲222
	計	2,009	2,075	2,149	2,230
営業利益	洋紙事業	22	▲18	▲13	0
	イメージング事業	5	15	15	25
	機能材事業	3	3	5	8
	その他	4	5	4	3
	消去	▲1	0	▲1	▲1
	計	33	5	10	35

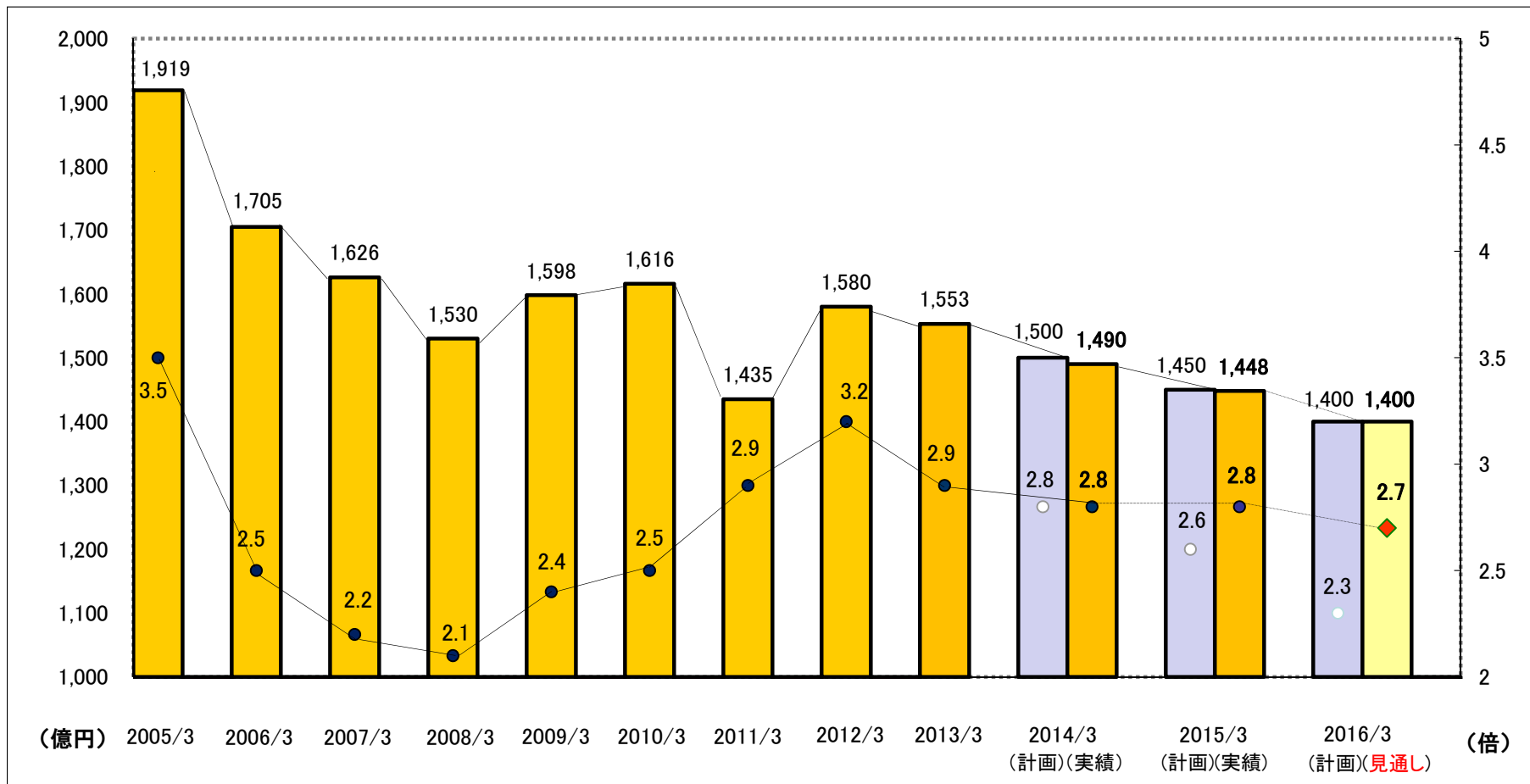


# 有利子負債残高・D/Eレシオ推移



	実績[14.3期末]	⇒	実績[15.3期末]	⇒	[16.3期末]
有利子負債残高	1,490億円	⇒	1,448億円	⇒	1,400億円
D/Eレシオ	2.8倍	⇒	2.8倍	⇒	2.7倍

有利子負債残高	D/Eレシオ
■ ..... 実績	● ..... 実績
■ ..... 中計計画	○ ..... 中計計画
■ ..... 見通し	◆ ..... 見通し



## 1. 財務体質改善、総資産(在庫)の圧縮

## 2. 新事業新商品の成長

- ★イメージング事業 : 機能性フィルム
- ★機能材事業 : リチウムイオン電池用セパレータ
- ★洋紙事業 : 産業用インクジェット

## 3. 既存事業の収益構造、生産体制の整備

- ★イメージング事業 : RC増産対応(アライアンス拡大)
- ★機能材事業 : 不織布マシン増強対応
- ★洋紙事業 : 情報用紙薄物原紙増産対応  
海外事業(ドイツ事業立て直し)
- ★流通・物流の効率化(グループ全体としての最適化)

## 4. 八戸エネルギー事業の検討

本資料における予想数値や業績見通しに関する記述は、現時点における将来の経済環境予測や入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の実際の決算・業績数値とは異なる可能性があります。